



2023年11月9日

各 位

会 社 名 昭 栄 薬 品 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 原 佐 一 郎  
(コード番号：3537 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 成 瀬 幸 次  
電 話 番 号 0 6 - 6 2 6 2 - 2 7 0 7

## 2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,988	169	251	179	52円89銭
実績値 (B)	11,113	236	349	246	72円59銭
増減額 (B-A)	△875	66	97	67	—
増減率 (%)	△7.3	39.5	38.8	37.4	—
(ご参考) 前年同四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	12,616	310	436	316	92円27銭

#### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、海外経済の減速懸念から当社グループの事業とかわりの深い界面活性剤業界の生産・販売活動は低迷し、自動車関連や繊維油剤関連の主要得意先からの受注が低調となりました。また一部原材料価格（天然油脂相場価格）が前年と比べ大きく下落し、販売価格も値下がりしました。一方、利益面では新興国化学品の販売拡大や円安による輸出原材料の拡販等が寄与し、連結売上高は予算を下回ったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、海外経済の減速懸念やロシア・ウクライナ情勢、また中東情勢等の地政学リスク、一部原材料価格（天然油脂相場価格）の変動リスク等、先行きに対する不透明感が多くあるため、公表済みの予想値を据え置くことといたします。ただ、今後の業績動向などを見極め、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

\*上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上